



企業プロフィール

- 設立：1938年
- 事業内容：内装材料等の各種室内装飾、インテリア商品を扱う住まいの総合商社
- 従業員数：232名（2015年8月現在）
- 年次有給休暇の取得率：40.5%
- 年間休日数：125日
- URL：http://www.shinoda-co.jp/

リフレッシュ休暇、年休積立制度



リフレッシュの
ための休暇制度

上司も長期休暇を取得できる環境が 部下の成長やチームワークの向上を促す

ポイント

- ① リフレッシュ休暇は、取得可能日の半年前から通知するなどして全員の取得を促す
- ② リフレッシュ休暇制度の導入の効果は、取得者の心身の充実のみならず、部下の能力アップや職場のチームワーク向上にもつながっている

株式会社シノダは、メイン事業としてインテリアや内装材料等の提供を行い、業界トップクラスの実績を持つ企業。経営理念に「堅実経営」、「信頼と誠実」を掲げ、顧客はもとより、会社と社員の間でも信頼の輪を大切に、充実した研修・教育制度や社員も家族も安心できる休暇制度、福利厚生制度の導入、クラブ活動などへの補助を行っている。

今回は、岩本一儀総務部長と小鳥居健総務係長に同社の特徴的な休暇制度についてご紹介いただいた。

しっかりと休みが取れる制度

当社では創業以来、社員を「財産」として考えています。原則として全員を正社員として採用し、教育・研修に力を入れており、その上で、社員が安心して能力を発揮できる環境づくりに励み、各種休暇制度や福利厚生の充実にも注力しています。

休暇については、業界に先駆けて1992年に完全週休2日制を導入し、同時に、入社後10年ごとの節目に取得できる「リフレッシュ休暇制度」を導入しました。後

者は、最長16日間の連続休暇が有給で取得できる制度です。功労金(10万円～15万円)も支給されます。取得対象期間は2年間で、取得権利者には6ヵ月前に通知書を送付します。今では誰もが休める風土が根付いており、取得率は毎年ほぼ100%となっています。

ほかに、失効した年次有給休暇を積み立てる「年休積立制度」も特徴ある制度です。最高50日まで年次有給休暇を積み立てられるもので、子どもの誕生、病気療養、ご家族の介護、自己啓発などに活用できます。

長期休暇が取得できる社内体制

リフレッシュ休暇の過ごし方は、社内報に体験談が掲載されますので、職場で話題になり、社内コミュニケーションの向上にも役立っています。また、上司が長期休暇を取得する際に部下がその代行を務めて管理能力が培われた、職場のチームワークが向上した、業務の効率化に取り組めた、といった効果もみられます。

取得率がほぼ100%である要因は、社員間の協力があることはもちろん、社員の3分の2以上を占める営業職に、5～6年ごとに異動がある環境もあるのではないかと思います。建設関連の業界では同じ担当者がお客様と長くおつき合する体制をとっている会社が多いのですが、当社では異動することで自身の幅を広げることが重視されています。その結果、多様な経験を持つ社員が増え、他の社員をフォローする力が会社全体に自然と培われたように感じます。



岩本総務部長(右)と小鳥居総務係長

業務を離れた社員同士の親睦も大切に考えており、忘年会や暑気払いなどは会社が費用を負担します。またクラブ活動が盛んで、とりわけフットサルは全店舗にチームがあり、年1回「シノダカップ」を開催しています。

毎年1月5日は「新年会」を開催します。定年退職された方々にもご参加いただき、全社を挙げた盛大な恒例行事となっています。2年後に迎える創業80周年には、全員揃っての社員旅行を企画しています。

休暇制度 利用者の声

2014年10月に勤続20年のリフレッシュ休暇を取得する権利が生じ、本社総務部から取得に係る通知を受けました。内容は2016年10月31日までに10営業日(土日を含めると最長16日間)の休暇と報奨金を支給するというので、取得時期は本人の希望を優先して決められます。なお、取得申請は休暇予定の3ヵ月前までに、という条件があります。

取得するにあたり、できる限り周囲に迷惑がかからないように配慮して日程を絞り、妻、上司に相談して16日間の休暇を決めた後、幼稚園に通う娘がいるため、早めに計画を立てて準備をしました。

まずは海外旅行です。家族でシンガポールを楽しみました。帰国後は、日頃できていなかった親孝行をしようと私の両親を誘い、2泊3日の温泉旅行へ。温泉も食事も最高でしたが、何より両親が初めて孫と一緒に旅行したことをとても喜んでくれました。

2つの旅行を経験して、文化と慣習の違いや世界の広さを実感でき、少しでも価値観や考え、視野が広がった

と感じています。前回の勤続10年のリフレッシュ休暇の際は、独身だったこともあり、あまり有意義に過ごせませんでした。今回は家族とずっと一緒に過ごし、家族がいてくれることが私にはとても幸せなことなのだと今まで以上に感じられた休暇でした。

休暇中の仕事について、気持ちのどこかに心配もありましたが、みんなの協力があり、問題無く乗り切れました。会社・仕事というものは、自分がいなくても動いていくことを改めて感じるとともに、だからこそ「さらに自分の能力を発揮していなくては」と気が引き締まりました。休暇後に出勤すると、私の仕事を担当してくれた部下が「店長代理の仕事って大変ですね」と言ってくれました。部下たちの成長を実感することもでき、この休暇制度は、一緒に働く社員にとっても有意義な制度であると思いました。

当社のリフレッシュ休暇の取得率は100%です。上に立つ人が進んで取得できていることも、うまくいっている一因かなと思います。

(シノダ横浜店 店長代理 小林裕盛さん)